

放課後等デイサービス事業における自己評価結果（公表）

公表：2025年 3月 31日

事業所名 たまキッズルーム豊田

|          |    | チェック項目                                                                                     | はい | どちらともいえない | いいえ | 未回答 | 工夫している点                                                                | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標                                                                                                    |
|----------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----------|-----|-----|------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 環境・体制整備  | 1  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である                                                                  | 4  | 0         | 0   | 0   | ・外出したり机上活動をして児発と重ならないようにしている<br>・2つのスペースを使用している<br>・低学年・高学年・中高生と分けたりする | ・適切であっても児童の成長に伴い狭く感じており、外出を企画し、療育も工夫しながら、安全に行えるように気を付けていく必要はある                                                              |
|          | 2  | 職員の配置数は適切である                                                                               | 3  | 0         | 1   | 0   | ・足りない時はパートやヘルプで調整している                                                  | ・曜日や時間帯によっては体制が厳しい時あり、イレギュラーに対応できるよう余裕が欲しい<br>・送迎を考慮すると公休が限定される場合がある。有休が取りづらい状況は変わらずある。<br>・病休や欠勤になると物理的に厳しい。制度的な支援はもつとあるべき |
|          | 3  | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている           | 2  | 0         | 2   | 0   | ・視覚的に分かりやすくしている                                                        | ・トイレ段差有、バリアフリーにはなっていない<br>・未対応だが、必要とする利用者は今のところいない<br>・部屋同士の天井が吹き抜けて繋がっており、物音が響きやすい                                         |
| 業務改善     | 4  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している                                                | 3  | 0         | 1   | 0   | ・毎日、朝礼と終礼で1日のフィードバックを行う<br>・支援計画書の確認                                   | ・具体的に改善するための参画する時間は不足している                                                                                                   |
|          | 5  | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている                              | 4  | 0         | 0   | 0   | ・共有できるようになっている                                                         |                                                                                                                             |
|          | 6  | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 4  | 0         | 0   | 0   |                                                                        |                                                                                                                             |
|          | 7  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている                                                             | 1  | 0         | 2   | 1   |                                                                        | ・外部評価の改善や評価内容の周知がよく分からない<br>・制度的に行政の中に審査機関を取り入れては？                                                                          |
|          | 8  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している                                                                | 4  | 0         | 0   | 0   |                                                                        | ・中途入社による、資質向上のための研修やマニュアル作成の準備を模索中<br>・日々の業務で研修に割ける時間が乏しいが、必要に応じて改善していきたい                                                   |
| 適切な支援の提供 | 9  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している                                     | 4  | 0         | 0   | 0   |                                                                        | ・ツールはあるが、活かされていない                                                                                                           |
|          | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している                                                 | 2  | 0         | 2   | 0   |                                                                        | ・アセスメントのツールはあるが、情報共有が行き渡っていない。<br>・児童の評価・介入の視点をできるだけ統一すべく、研修機会を今後設けたい                                                       |
|          | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている                                                                       | 4  | 0         | 0   | 0   | ・子どもの実態や成長に合わせ、目的を持って実施<br>・打合せして共有している                                | ・人員不足がある場合は組織だって行う事は難しいが、都度コミュニケーションをとって立案している                                                                              |
|          | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している                                                                     | 4  | 0         | 0   | 0   | ・プログラムは毎日変えている<br>・計画外出やクッキングなど児童の経験値を上げる取組みも増えている<br>・個別療育を計画的に実施している |                                                                                                                             |
|          | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか                                                        | 4  | 0         | 0   | 0   | ・事前に計画し体制を整え、個別・集団療育できるよう配慮している                                        | ・体制によりできる時できない時がある                                                                                                          |
|          | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか                                           | 4  | 0         | 0   | 0   | ・集団がメインであるが、高学年や中高生を対象に個別の課題を与えて、計画や振り返りの活動ができている                      | ・定期的に行うためには人員不足は否めない<br>・下校の早い児童には可能な限り個々に特化した対応を心掛けている                                                                     |
|          | 15 | 支援開始前には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか                                           | 4  | 0         | 0   | 0   | ・ミーティングで打ち合わせや連絡ノートを活用している<br>・児発管を中心に共有している                           |                                                                                                                             |
|          | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している                                        | 4  | 0         | 0   | 0   | ・ミーティングで振り返り、共有している<br>・終礼している                                         |                                                                                                                             |

|              |    |                                                                              |   |   |   |   |                                                   |                                                                                    |
|--------------|----|------------------------------------------------------------------------------|---|---|---|---|---------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
|              | 17 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている                                         | 4 | 0 | 0 | 0 | ・連絡ノート・ケース記録の活用                                   |                                                                                    |
|              | 18 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している                                        | 4 | 0 | 0 | 0 |                                                   |                                                                                    |
|              | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか                                             | 4 | 0 | 0 | 0 |                                                   |                                                                                    |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している                            | 1 | 1 | 1 | 1 | ・あれば参画している                                        | ・機会がないので、行政を中心に今後意識が変わると良い<br>・把握できていない職員もいるので、機会があれば参画したい                         |
|              | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか       | 4 | 0 | 0 | 0 | ・連絡帳での変更確認、学校からの手紙の確認、保護者とのメール確認等で行っている           | ・引渡しで学校でのトラブルが引継がれないのは課題<br>・全ての学校ではないが行っている<br>・密に情報共有できる学校とできない学校とがある            |
|              | 22 | （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | / | / | / | / |                                                   |                                                                                    |
|              | 23 | （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている             | / | / | / | / |                                                   |                                                                                    |
|              | 24 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか                      | 3 | 0 | 1 | 0 | ・全ての施設ではないが、必要な事は保護者を通して共有している                    | ・エール（発達支援センター）と共有している<br>・セルフプランを保護者主体で作成しているため、通所先の変更や担任の変更など、適切な関わり必要性を感じる       |
|              | 25 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか           | 2 | 2 | 0 | 0 | ・保護者とは将来的な話題を確認している                               | ・まだそのケースが無いが、ある場合はする                                                               |
|              | 26 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている                     | 3 | 0 | 1 | 0 | ・全ての施設ではないが、必要な事は共有している<br>・年2回事業所連絡会に参加し情報共有している | ・業務の多忙さや人員体制により参加できない状況はある                                                         |
|              | 27 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか                                        | 3 | 0 | 1 | 0 | ・児童館、公園、地域のイベント参加などで適宜あり                          | ・定期的なものではないが、地域のお祭りに参加する事もある                                                       |
|              | 28 | （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している                                      | 2 | 0 | 2 | 0 | ・全ての施設ではないが、必要な事は共有している                           | ・基幹センターに参加はないが、発達支援センター開催の研修や事業所連絡会には参加している。                                       |
|              | 29 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている                               | 4 | 0 | 0 | 0 | ・送迎時など共有できるようにしている                                |                                                                                    |
| 保護者への説明      | 30 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている                   | 1 | 0 | 3 | 0 | ・常に助言はしている                                        | ・体制的にリスクを承知での関わりは難しい<br>・事業所内研修を行い、資格を有しないスタッフへのサポートとしつつ、保護者へも伝えていけるよう支援の視点統一を図りたい |
|              | 31 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている                                                   | 4 | 0 | 0 | 0 | ・欠席加算の説明をしている                                     |                                                                                    |
|              | 32 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている                                | 4 | 0 | 0 | 0 | ・面談にて行っている<br>・日々、連絡帳や送迎時に相談対応している                | ・足りているのかは不明                                                                        |
|              | 33 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している                                 | 2 | 0 | 2 | 0 | ・児童発達支援・放課後等デイサービスの垣根なく、夏祭り親子参加型の催しが開催できたのは第一歩    | ・引き続き保護者参観など交流の催しが開催できると、保護者同士の情報共有もできるだろう                                         |
|              | 34 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している   | 4 | 0 | 0 | 0 |                                                   |                                                                                    |

|         |    |                                                                            |   |   |   |   |                                                                           |                                                                                                            |
|---------|----|----------------------------------------------------------------------------|---|---|---|---|---------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 明責任等    | 35 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している                           | 3 | 0 | 1 | 0 | ・児童発達支援ではブログの更新はしている<br>・月間療育予定を配布し、見通しを持ってもらいやすくなっている                    |                                                                                                            |
|         | 36 | 個人情報の取扱いに十分注意している                                                          | 4 | 0 | 0 | 0 | ・シュレッダーの使用                                                                |                                                                                                            |
|         | 37 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている                                       | 4 | 0 | 0 | 0 |                                                                           |                                                                                                            |
|         | 38 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている                                         | 1 | 0 | 3 | 0 | ・自事業所ではできていないが、地域行事やイベントなど情報は共有できるようにしている                                 | ・閉鎖的ではないが、地域の課題としてとらえて、事業所の今後の運営を考えていきたい                                                                   |
| 非常時等の対応 | 39 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している        | 4 | 0 | 0 | 0 |                                                                           | ・BCP含めマニュアルの見直しの必要性は感じている<br>・マニュアルはあるが周知できていない部分がある<br>・保護者への周知は全てではない部分がある(防犯など)<br>・ご契約やご面談時に簡易的に説明している |
|         | 40 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている                                         | 4 | 0 | 0 | 0 | ・避難訓練の実施<br>・災害グッズや備蓄の準備は最低限している<br>・公園外出でも避難場所を教えている                     |                                                                                                            |
|         | 41 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている                                       | 4 | 0 | 0 | 0 | ・基本的に依頼や連携を取っている訳ではないが、必要がある場合は医師の指示書等の準備をお願いしている<br>・保護者からの情報提供により配慮している |                                                                                                            |
|         | 42 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している                                                  | 4 | 0 | 0 | 0 |                                                                           | ・ツールはあるが、活用は不十分                                                                                            |
|         | 43 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている                                         | 4 | 0 | 0 | 0 | ・年1回の実施(今年度は3事業所合同で開催できた)                                                 |                                                                                                            |
|         | 44 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 4 | 0 | 0 | 0 | ・研修動画を見て最低限ではあるが、職員で共有している                                                | ・ご契約時に保護者に説明はしているが、詳細に説明できているとは言えない<br>・該当する児童がいない<br>・ある場合は対応する                                           |

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：2025年 3月31日

事業所名 たまキッズルーム豊田

|          |    | チェック項目                                                                                                                       | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | 工夫している点                                                  | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標                                                                               |
|----------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----------|-----|-------|----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 環境・体制整備  | 1  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である                                                                                                    | 4  | 0         | 0   | 0     | ・外出したり机上活動をして放デイと重ならないようにしている<br>・共存すべく大人も子どもも歩み寄って      |                                                                                                        |
|          | 2  | 職員の配置数は適切である                                                                                                                 | 3  | 0         | 1   | 0     | ・足りない時はパートやヘルプで調整している                                    | ・余裕のある時もあるが、曜日によってはギリギリになる時もあり、イレギュラーに対応できるよう余裕が欲しい<br>・有休は取りにくい状況<br>・病休や欠勤になると物理的に厳しい。制度的な支援はもつとあるべき |
|          | 3  | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている                                             | 2  | 0         | 2   | 0     | ・視覚的に分かるように色や絵で工夫している（玩具ケースに写真を貼ったり、トイレにマークがある）          | ・トイレ段差有、バリアフリーにはなっていない<br>・未対応だが、必要とする利用者は今のところいない<br>・部屋同士の天井が吹き抜けで繋がっており、物音が響きやすい                    |
|          | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている                                                                          | 4  | 0         | 0   | 0     | ・危険がないよう広いスペースの確保<br>・毎日の掃除・消毒の徹底など<br>・従事者の努力で適切に保たれている |                                                                                                        |
| 業務改善     | 5  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している                                                                                  | 3  | 0         | 1   | 0     | ・支援計画書の確認<br>・毎日朝礼と終礼で1日のフィードバックを行っている                   | ・具体的に改善するための参画する時間は不足している                                                                              |
|          | 6  | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている                                                                | 4  | 0         | 0   | 0     |                                                          |                                                                                                        |
|          | 7  | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している                                   | 4  | 0         | 0   | 0     |                                                          |                                                                                                        |
|          | 8  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている                                                                                               | 1  | 0         | 3   | 0     |                                                          | ・外部評価の改善や評価内容の周知がよく分からない<br>・制度的に行政の中に審査機関を取り入れては？                                                     |
|          | 9  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している                                                                                                  | 4  | 0         | 0   | 0     |                                                          | ・中途入社による、資質向上のための研修やマニュアル作成の準備を模索中<br>・日々の業務で研修に割ける時間が乏しいが、必要に応じて改善していきたい                              |
| 適切な支援の提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している                                                                       | 4  | 0         | 0   | 0     |                                                          | ・ツールはあるが、活かされていない                                                                                      |
|          | 11 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している                                                                                   | 2  | 0         | 2   | 0     |                                                          | ・アセスメントのツールはあるが、情報共有が行き渡っていない。<br>・児童の評価・介入の視点をできるだけ統一すべく、研修機会を今後設けたい                                  |
|          | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 4  | 0         | 0   | 0     |                                                          |                                                                                                        |
|          | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている                                                                                                        | 4  | 0         | 0   | 0     |                                                          |                                                                                                        |
|          | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている                                                                                                         | 4  | 0         | 0   | 0     | ・療育会議を行い共有・立案している<br>・内容は毎月変えている                         |                                                                                                        |
|          | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している                                                                                                       | 4  | 0         | 0   | 0     | ・皆で案を出し合い毎月考案している<br>・児童ごとに課題の目標を変えている                   |                                                                                                        |

|              |    |                                                                                  |   |   |   |   |                                                        |                                                                                                                                                      |
|--------------|----|----------------------------------------------------------------------------------|---|---|---|---|--------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している                                     | 4 | 0 | 0 | 0 | ・計画的に実施できるようになってきている                                   | ・定期的に行うためには人員不足は否めない                                                                                                                                 |
|              | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している                                   | 4 | 0 | 0 | 0 |                                                        |                                                                                                                                                      |
|              | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している                              | 4 | 0 | 0 | 0 |                                                        |                                                                                                                                                      |
|              | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている                                             | 4 | 0 | 0 | 0 |                                                        |                                                                                                                                                      |
|              | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している                                            | 4 | 0 | 0 | 0 |                                                        |                                                                                                                                                      |
|              | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している                                | 1 | 1 | 1 | 1 | ・あれば参画している                                             | ・機会がないので、行政を中心に今後意識が変わると良い<br>・把握できていない職員もいるので、機会があれば参画したい                                                                                           |
|              | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている                                            | 4 | 0 | 0 | 0 |                                                        | ・必要に応じて発達支援センター（エール）や子家セン、幼保などとも連携している<br>・定期的には行っていないが、要望があれば連携は取っている                                                                               |
|              | 23 | （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）<br>地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | / | / | / | / |                                                        |                                                                                                                                                      |
|              | 24 | （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）<br>子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている             | / | / | / | / |                                                        |                                                                                                                                                      |
|              | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている                    | 3 | 0 | 1 | 0 | ・全ての施設でないが、必要な事は共有している                                 | ・関係機関との連携は必要に応じて問い合わせたり確認したり等の繋がりはあるが、児童の発達に関わる事で相互理解を図るまでの段階にはない。他機関で得られた情報や数値、記録等については保護者からの情報提供を受け、職員間で共有している。<br>・こちらから介入していく動きは確立されていないので、今後の課題 |
|              | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている                                | 3 | 0 | 1 | 0 | ・25に同じ                                                 | ・25に同じ<br>・該当しただが、必要性があれば行う                                                                                                                          |
|              | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている                         | 2 | 0 | 2 | 0 | ・25に同じ<br>・保護者様を通じて助言は共有している<br>・年2回事業所連絡会に参加し情報共有している | ・25に同じ<br>・業務の多忙さや人員体制により参加できない状況はある                                                                                                                 |
|              | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある                                         | 1 | 0 | 3 | 0 | ・外出時の公園や公共の場では居合わせて交流することもある                           | ・地域のお祭りに参加する事もあるが、定期的なものではないので、今後の課題                                                                                                                 |
|              | 29 | （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している                                          | 2 | 0 | 2 | 0 |                                                        | ・基幹センターに参加はないが、発達支援センター開催の研修や事業所連絡会には参加している。                                                                                                         |
|              | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている                                   | 4 | 0 | 0 | 0 | ・その日の出来事を共通認識として報告                                     |                                                                                                                                                      |
|              | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている                       | 1 | 0 | 3 | 0 | ・常に助言はしている<br>・必要性を伝え、医療関係施設を紹介してサポートしている              | ・体制的にリスクを承知での関わりは難しい、不十分<br>・事業所内研修を行い、資格を有しないスタッフへのサポートとしつつ、保護者へも伝えていけるよう支援の視点統一を図りたい                                                               |

|            |    |                                                                                                      |   |   |   |   |                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                            |
|------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 保護者への説明責任等 | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている                                                                           | 4 | 0 | 0 | 0 |                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                            |
|            | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 4 | 0 | 0 | 0 |                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                            |
|            | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている                                                        | 4 | 0 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>定期的ではないが、連絡帳に記載があれば助言や返事をし、口頭でも伝えている</li> <li>面談の内容を共有している</li> </ul>                    | ・足りているのかは不明                                                                                                                                                                |
|            | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している                                                         | 2 | 0 | 2 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>送迎時に自然と交流はある</li> <li>児童発達支援・放課後等デイサービスの垣根なく、夏祭りで親子参加型の催しが開催できたのは第一歩</li> </ul>          | ・引き続き保護者参観など交流の催しが開催できると、保護者同士の情報共有もできるだろう                                                                                                                                 |
|            | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している                           | 4 | 0 | 0 | 0 |                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                            |
|            | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している                                                     | 2 | 0 | 2 | 0 | ・ブログで発信している                                                                                                                     |                                                                                                                                                                            |
|            | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している                                                                                    | 4 | 0 | 0 | 0 | ・シュレッターの使用                                                                                                                      |                                                                                                                                                                            |
|            | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている                                                                 | 4 | 0 | 0 | 0 |                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                            |
|            | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている                                                                   | 1 | 0 | 3 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>自事業所ではできていないが、地域行事やイベントなど情報は共有できるようにしている</li> </ul>                                      | ・閉鎖的ではないが、地域の課題としてとらえて、事業所の今後の運営を考えていきたい                                                                                                                                   |
| 非常時等の対応    | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している                                  | 4 | 0 | 0 | 0 |                                                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>BCP含めマニュアルの見直しの必要性は感じている</li> <li>マニュアルはあるが周知できていない部分がある</li> <li>保護者への周知は全てではない部分がある（防犯など）</li> <li>ご契約やご面談時に簡易的に説明している</li> </ul> |
|            | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている                                                                   | 4 | 0 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練の実施</li> <li>災害グッズや備蓄の準備は最低限している</li> </ul>                                          |                                                                                                                                                                            |
|            | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している                                                                    | 4 | 0 | 0 | 0 | ・共有できている                                                                                                                        |                                                                                                                                                                            |
|            | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている                                                                 | 4 | 0 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的に依頼や連携を取っている訳ではないが、必要がある場合は医師の指示書等の準備をお願いしている</li> <li>保護者からの情報提供により配慮している</li> </ul> |                                                                                                                                                                            |
|            | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している                                                                            | 4 | 0 | 0 | 0 |                                                                                                                                 | ・ツールはあるが、活用は不十分                                                                                                                                                            |
|            | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている                                                                   | 4 | 0 | 0 | 0 | ・年1回の実施(今年度は3事業所合同で開催できた)                                                                                                       |                                                                                                                                                                            |
|            | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している                           | 4 | 0 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>研修動画を見て最低限ではあるが、職員で共有している</li> </ul>                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>ご契約時に保護者に説明はしているが、詳細に説明できているとは言えない</li> <li>該当する児童がいない</li> <li>ある場合は対応する</li> </ul>                                                |